

授業概要

本授業では、国語科の目標や内容、方法などについて、学習指導要領が示す方向性を踏まえながら講義する。特に、最新の教育実践の動向や研究の成果を含みながら、国語科教育に関する現代的な諸問題に関する議論を紹介する。併せて、国語科の授業を作るために必要となる基礎的・基本的な知識や技能（特に学習指導案の作成や指導計画の立案等）について指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション：国語科を「教える」立場として考えるために
第2回	国語科教育の歩み
第3回	国語科教育の構造と目標
第4回	学習指導要領の変遷と社会動向
第5回	国語科教育の現状と課題
第6回	これからの国語科教育に求められる授業設計と教育 ICT
第7回	国語科学習指導における授業技術の基礎・基本
第8回	国語科学習指導における教育評価の基礎・基本
第9回	国語科における教材研究
第10回	中学校国語科における教材研究と学習指導案の作成
第11回	中学校国語科における授業設計と学習指導案の作成
第12回	高等学校国語科における教材研究と学習指導案の作成
第13回	高等学校国語科における授業設計と学習指導案の作成
第14回	国語科教育および関連諸科学の基礎文献
第15回	まとめ：国語科教育の展望
第16回	期末課題の提出

到達目標

- ・中学校および高等学校における国語科教育の理論と実践について基礎的な知識を身につけることができる。
- ・これからの時代に求められる資質・能力を踏まえた国語科教育を考えるための知識や技能を習得することができる。
- ・国語科教育および関連諸科学の基礎的な知識を踏まえた教材研究や、教室や学習指導の具体的な場面を想定した学習指導案を作成することができる。

履修上の注意

- ・10分以上の遅刻は欠席とみなすので注意すること。
- ・Teams を使うため、情報機器（PC 推奨、タブレット端末・スマートフォン等も可）を毎回持参すること。
- ・毎回のリアクションペーパーについて、欠席回および遅れて提出されたものについては原則成績に参入しないので注意すること。ただし、実習等やむを得ない事情がある場合は考慮するので必ず事前に申し出ること。

予習・復習

- ・予習：授業担当者からの指示に従うこと。
- ・復習：リアクションペーパーの作成を通じて丁寧に行うこと。詳しくは初回に案内する。

評価方法

- ・授業各回の内容理解：30%（リアクションペーパー（毎回提出）の内容で評価する）
- ・授業への参加：20%（授業内課題への取り組みと提出物の内容で評価する）
- ・授業全体の内容理解と考察：50%（期末課題で評価する）

テキスト

- ・資料を配布するが、「【国語編】中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説」（文部科学省）および「【国語編】高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説」（文部科学省）は事前に入手しておくこと（以下のリンク先からダウンロード可 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm）。